

IRATSUME の原稿募集

IRATSUME13号(1989年5月発行予定)の原稿募集を行います。原稿は十分に推
こうしたうえ、横書き 400字詰原稿用紙に浄書してください。ワープロ原稿の
場合は、1行36字詰をお願いいたします。付図や写真の紙焼きは、原則として
完全原稿(そのまま原稿として使用できる状態のもの)で提出していただきます。
写真はモノクロの紙焼きをお願いいたします。標本撮影は、編集事務局でも行
えますので、ご利用ください。また、原稿用紙10枚を超えるものについては、
必ず事前にご連絡願います。原稿執筆に関する疑問点や質問にも応じます。

原稿の締め切りは、1988年12月末日(編集作業に時間を要しますので厳守の
こと)。送付先・問合先は、画567 茨木市総持寺2-11-4 谷角素彦まで。

なお、投稿者は掲載誌を3部受け取り、原稿掲載料1,000円を事務局(振替：
神戸2-16245 但馬むしの会)に支払うことになります。

《編集後記》

また、IRATSUME 発刊の季節がやってきました。毎年のことですが、「なんで
小生がこんな苦労をせにゃあならんのだ」と思いながら、編集作業をやってい
ます。まあ、ぼやいていても仕方がない、これを超えないと、我々には春
が来ないのは、どうしようもない事実なのですから。とはいっても年々、少し
ずつではあっても、手のかかる度合いが緩和されています。それは、とりもな
おさず寄稿者が原稿執筆に慣れてきたことの現れだといえましょう。やはり何
事も、実際に各人が自ら苦労しないと、上達は望めない……。皆さんの原稿を
整理していて、こんな感想を抱きました。次号では、これまで名前が登場する
ことのなかった会員の方々にも、寄稿という形で是非、IRATSUMEに参加してほ
しいと思います。

編集作業の分担は、原稿整理と校正、版下作成を谷角、ワープロ入力を石田
が行い、作図は足立義弘氏の協力を得ました。とにもかくにも、IRATSUME12号
が完成しました。さあ、これで心置きなく採集に出掛けられるぞ!

IRATSUME No.12

1988年4月30日発行

発行者：但馬むしの会

編集者：谷角素彦・石田達也

連絡：画669-68 兵庫県美方郡温泉町

黒井和之方